

大軍拡・増税に対する世論調査で反対 61%

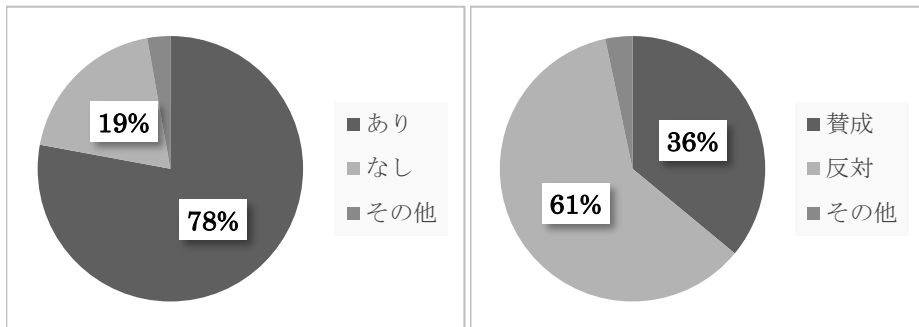
“平和と暮らしをこわすな” 北九州から岸田内閣へ審判を

北九州市長選は、岸田内閣が進める大軍拡・増税に審判を下す絶好のチャンスです。

共同通信の調査によれば、防衛費増額に伴う増税前に「解散・総選挙を行う必要あり」が 77.9%、「なし」が 19.3%。また「防衛力強化

のための増税に反対」が 60.7%、「賛成」 36.0%となっています。

大軍拡・増税は国民の最大の関心事。ところが、「反対」を掲げているのは、ながた候補だけ。他の候補は、まったく触れないまま。大軍拡・増税反対の 1 票は、ながた候補に。この声を大きく広げましょう。



↑解散・総選挙を行う必要

↑大軍拡・増税に対する意見

大きな反響

高齢者から子育て世帯から“次々”期待の声！！



ながた候補が訴えている「子ども支援3つのゼロ」（子ども医療費ゼロ、学校給食費ゼロ、子ども国保料ゼロ）や、高齢者福祉乗車券などの支援策が、市民に大きな反響と共感を呼んでいます。

4候補による合同討論会を見た市民からは「市民生活にかかわる具体的提案は、ながたさんが一番だった」「福岡市では高齢者福祉乗車券が実現しているのに、なぜ北九州市はできないの？ぜひ、実現してほしい」

「大型ハコモノばかりをつくらず、福祉を重視する市政にしてほしい」などの声が寄せられています。

こうした市民の声に押されて、下北道路の建設を掲げる候補は、「新たな三つの政策」を発表。これまで「学校給食の負担軽減」としていたものに「将来的に学校給食の完全無償化」を追加変更しました。

ながた候補の政策と訴えを広げに広げ、新しい市政実現に全力をあげましょう。



11日 小倉南区



12日 小倉北区



声をかければ、ながた候補への支持は、
どんどん広がります

攻めて、攻めて、新しい歴史をつくろう！

